

## 出席及び遅刻に関する規範と集団の成績(2)\*

### 大学野球部の調査研究

佐々木 薫

#### 問 題

われわれは先の研究(佐々木, 1995)において、関西学生吹奏連盟傘下の大学吹奏楽部と関西学生アーチェリー連盟傘下の洋弓部とをそれぞれコンクールでの成績、春期リーグ戦における団体戦の成績をもとに各連盟役員たちの評価をも参考にして、成績上位群と下位群に分ち、これらの集団のもつ出席および遅刻に関する規範の群間比較を行って次の結果を得た。すなわち、(1)成績上位群は成績下位群よりも厳しい参加規範(出席および遅刻に関する規範の総称)をもっていた。(2)成績上位-下位群間の差は吹奏楽部において洋弓部におけるよりも顕著であった。

このような結果は、これら二種の集団活動(吹奏楽の演奏とアーチェリーの射的)に見られる成員間の相互作用とそれが集団の成績に寄与する程度の相違によって説明される。すなわち、吹奏楽部においては音楽的ハーモニーを創り出すために(パート練習もさることながら)最終的には全部員による一斉練習が重要であるのに対し、洋弓部では競技のチーム得点が基本的には選手一人一人の個人得点の加算であって、全部員による一斉練習を必須としない。そして実際にも、練習施設の規模の制約があって、洋弓部では文字どおりの一斉練習は行われていない。

ところで、学生のクラブ活動については「文化部」と「運動部」という区分がしばしば行われる。

この区分によれば、吹奏楽部は文化部であり、洋弓部は運動部である。この差異が上の結果と関係していないであろうか。この疑念を晴らすためには、その集団の成績がチームワークによって大きく左右されるような活動に従事している運動部において、吹奏楽部に見られたような顕著な関係が見出せることを確認しなければならない。本研究は、そのような運動部の例として野球部を取り上げ、このことを検証しようとするものである。

#### 方 法

1976年当時関西野球連合傘下の42大学野球部の部員を対象に、同年7月26日から8月31日にかけて質問紙調査を実施すると同時に、幹部役員に面接して当該クラブの運営に関する事情聴取を行った。<sup>1)</sup> 質問紙調査については在籍者総数1060名中769名から有効回答を得ることができた。回収率はチーム別にみて最高100%、最低36%、平均70.9%であった。これら42チームのデータ中から、本研究のための成績上位群として関西六大学リーグに属する6チーム、成績下位群として、阪神、京磁、近畿各リーグの二部に属する15チーム、計21チームのデータが分析の対象に選ばれた。

ここでリーグ間の関係について説明しておく必要がある。まず、阪神リーグには6校から成る一部リーグとその下に6校から成る二部リーグとがあり、京磁リーグには6校から成る一部リーグとその下に7校から成る二部リーグがある。近畿

\* 本研究は、次の学会発表を基にまとめたものである。

Sasaki, Kaoru Participation Norms and Group Performance. XXIV International Congress of Psychology, Sept. 2, 1988 at Sydney, Australia.

1) 調査の方法と結果の詳細は、佐々木薫の指導のもとに作成された次の卒業論文にまとめられている。

中岡まゆみ・中山直子 学生集団のグループ・ダイナミック的研究—野球部の場合—

関西学院大学社会学部1976年度卒業論文

リーグにはそれぞれ6校から成る一部リーグ、二部リーグの下にさらに4校から成る三部リーグがある。これら一部、二部、三部のリーグは、阪神・京磁・近畿の各リーグ内で、シーズン中の戦績に基づいて、上位のリーグ（例えば、阪神リーグの一部リーグ）の最下位チームと下位リーグ（例えば、阪神リーグの二部リーグ）の優勝チームとの間でいわゆる「入れ替え戦」を行い、前者が勝てばリーグ編成はそのまま、後者が勝てば勝った方が上位リーグ（つまり一部リーグ）に昇格し負けの方が下位リーグ（二部リーグ）へと落ちることになる。近畿リーグのように三部リーグまであるところでは、同様のことが二部リーグの最下位チームと三部リーグの優勝チームとの間で行われる。

これら阪神、京磁、近畿リーグの上に関西六大学野球連盟の6校（いわゆる関六）が君臨する。もちろん、この関六と阪神・京磁・近畿3リーグの間にも入れ替え戦が行われる。この場合、まず3リーグのそれぞれの一部リーグ優勝校3チームの間で一位決定戦が行われ、その一位チームと

関六の最下位チームとの間で入れ替え戦が行われる。

このような制度<sup>2)</sup>によって、関六と3リーグとの間、3リーグ内の一部、二部、三部間にはチームの成績に関して明確な序列が維持されていた。従って、本研究に用いられたデータ、すなわち上位群の関六と下位群の3リーグ二部との間には（中間の3リーグ一部を越えて）明瞭な成績差があったと見てよいであろう。ちなみに、本調査の時点（昭和51年）で、関六に含まれていたのは近畿大学、立命館大学、同志社大学、神戸学院大学、関西大学、大阪商業大学の6校（順不同）であり、阪神リーグの二部には関西外国語大学、桃山学院大学、大阪電機通信大学、神戸商船大学、大阪経済法科大学、摂南大学の6校が、京磁リーグ二部には京都外国語大学、京都工芸繊維大学、大谷大学、滋賀大学、京都府立大学、京都薬科大学、京都府立医科大学の7校が、そして近畿リーグ二部には神戸大学、大阪府立大学、大阪工業大学、和歌山大学、大阪歯科大学、高野山大学の6校が含まれていた。なお、成績下位群の3リーグ二部に

表1 分析に用いた各チームの部員数、有効回答票数、および回収率

成績上位群 (6チーム)				成績下位群 (15チーム)			
クラブ	部員数	有効回答数	回収率	クラブ	部員数	有効回答数	回収率
関西六大学：				阪神リーグII部：			
A	50	33	66.0	a	20	14	70.0
B	33	31	93.9	b	12	9	75.0
C	50	37	74.0	c	14	9	64.3
D	29	29	100.0	d	20	16	80.0
E	25	25	100.0	e	22	15	68.2
F	25	16	64.0	近畿リーグII部：			
				f	32	22	68.8
				g	17	7	41.2
				h	14	9	64.3
				i	14	11	78.6
				京滋リーグII部：			
				j	15	11	73.3
				k	23	14	60.9
				l	17	11	64.7
				m	22	15	68.2
				n	25	14	56.0
				o	15	9	60.0
平均	35.3	28.5	83.0	平均	18.8	12.4	66.2

2) この制度は、昭和57年（1982年）から現在のような固定メンバー制に改められた。

は上述の通り19チーム含まれていたが、データ収集ができなかった3チームと調査票の回収率が低かった1チームを除いたので、残る15チームが分析に用いられた。

結局、本研究に用いられた各クラブの部員数、有効回答票数、および回収率は、前頁の表1の通りであった。

集団規範の測定には、ジャクソン (Jackson, 1960 & 1965) の提唱するリターン・ポテンシャル・モデルに基づいて佐々木 (1963 & 1981) の考案した質問項目が用いられた。すなわち、出席に関する私的見解と集団規範は、それぞれ次のQ1

およびQ2によって、また遅刻に関する私的見解と集団規範は、それぞれQ3およびQ4によって測定された。

また、出席に関する集団規範の実効性を見るために、次の質問を設けていた。

Q5<sup>3)</sup> クラブ活動全体(合宿などを含む)を100と考えた場合、あなたはどれくらい参加していますか。(10%単位で答えて下さい)

約 ( ) %

実際に用いられた質問紙には、集団目標、リー

Q1 [クラブの活動全体(合宿などを含む)を100と考える] あなたのクラブの部員たちがクラブの練習や会合に次のように参加した場合、あなたはそれをどう思いますか。(各列の数字を○で囲んで下さい。)

部員たちが		大変よいと思う	一応よいと思う	まあよいと思う	良いとも悪いとも思わない	どちらかといえばまずいと思う	少しまずいと思う	大変まずいと思う
	あなたは→							
↓								
すべてに参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
90%参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
80%参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
70%参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
60%参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
半分以下しか参加しない場合		1	2	3	4	5	6	7

Q2 それではあなたが次のように参加した場合、クラブの部員たちはどう思うでしょうか。

あなたが		大変よいと思うだろう	一応よいと思うだろう	まあよいと思うだろう	良いとも悪いとも思わないだろう	どちらかといえばまずいと思うだろう	少しまずいと思うだろう	大変まずいと思うだろう
	部員たちは→							
↓								
すべてに参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
90%参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
80%参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
70%参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
60%参加する場合		1	2	3	4	5	6	7
半分以下しか参加しない場合		1	2	3	4	5	6	7

3) 実際に実施された質問紙においては、この問題 (Q5) が出席に関する私的見解を測定する質問 (Q1) の前に置かれていた。したがって、上記Q1の [ ] 書は不要であった。

Q3 あなたのクラブの部員たちがクラブの練習や会合に次のように遅刻してきた場合、あなたはそれをどう思いますか。

クラブの部員たちが ↓ あなたは →	大変よいと思う 一応よいと思う まあよいと思う 良いとも悪いとも 思わない どちらかといえば まずいと思う 少しまずい と思う 大変まずい と思う
30分前に来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
15分前に来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
定刻に来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
5分遅刻して来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
15分遅刻して来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
30分遅刻して来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
60分遅刻して来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7

Q4 それでは、あなたが次のように遅刻した場合、クラブの部員たちはどう思うでしょうか。

あなたが ↓ 部員たちは →	大変よいと思うだろう 一応よいと思うだろう まあよいと思うだろう 良いとも悪いとも 思わないだろう どちらかといえば まずいと思うだろう 少しまずい と思うだろう 大変まずい と思うだろう
30分前に来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
15分前に来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
定刻に来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
5分遅刻して来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
15分遅刻して来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
30分遅刻して来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7
60分遅刻して来た場合	1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7

ダーシップ、コミュニケーション、勢力構造、集団凝集性、などを訊く数多くの質問項目が含まれていたが、今回の研究のねらいとは直接関係ないので省略する。いずれ別の機会を得て包括的な報告を行うであろう。

## 結 果

上記の質問に対する回答は、チーム単位として、次のように集計された。まず、出席に関する集団規範を尋ねたQ2への回答は、「すべてに参加する」から「半分以下しか参加しない」まで6通りの各程度ごとに、「大変よいと思うだろう(1)」

から「大変まずいと思うだろう(7)」までの7段階評定値のチーム平均(M)と標準偏差(SD)を求めた。次に、 $M' = 4 - M$ なる変換を行ってM'を求めると、 $M' > 0$ ならば是認、 $M' < 0$ ならば否認を意味する数値が得られる。いま「すべてに参加する」から「半分以下しか参加しない」までの6個のM'の絶対値の合計( $I = \sum |M'|$ )を求めると、このIは大きいほど、そのチームの理想とする出席率に向かって成員たちを駆り立てる力が強いことを表す指標(すなわちJackson [1960]のいうintensity of a norm)が得られる。われわれはこれを「強度」と呼ぶ。また、これら6個のM'を絶対値に変換しないでそのまま足し合わせ

た値 ( $D = \Sigma M'$ ) は Jackson (1965) が potential return difference と呼んだ規範の構造特性で、この値が正で大きいほど是認を受けやすいこと、反対に負であれば否認を受けやすいことを表わす。われわれはこれを「是-否認差」と呼んでいる。さらに、上で求めた標準偏差 (SD) の合計 ( $D = \Sigma SD$ ) は集団規範に対する成員たちの認知のバラツきの度合いを表している。この C を「結晶度」(Jackson [1960] のいう crystallization) と呼んで、その値が小さいほどその集団規範の結晶度が高いことを示す指標とする。

出席に関する私的見解 (Q1) に関しても、上と同様な仕方で、I, D, C の値が求められる。ただし、この場合の C は「結晶度」ではなく「一致度」と呼ぶべきであろう。

そして最後に、私的見解と集団規範の間のズレを「規範の虚構性」(F) として指標化した。すなわち、 $F = \Sigma |M - m|$  ただし、m は M に対応する私的見解のクラブ平均とする。

以上のような指標は、遅刻に関する私的見解 (Q3) および集団規範 (Q4) についても同様に算出された。

本研究で分析に用いられた成績上位群 (6 チーム) と成績下位群 (15 チーム) に関するこれらの数値は付録 1 と付録 2 に収録されている (ただし、M' と m' は省略)。これらの資料に基づいて、まず出席に関する集団規範と私的見解を、次いで遅刻に関する集団規範と私的見解を取り上げ、われわれの仮説を検討することとする。

### 1. 出席に関する規範

表 2 は、成績上位群 6 チームと成績下位群 15 チームにおける出席に関する集団規範 (M') と私的見解 (m') を、それぞれの群の中央値で代表させて比較したものである。両群間の差の検定にはノン・パラメックな U-test が用いられた。

これらの表の意味するところを読み取るに当たっては、表中の数値 M' および m' をグラフ化した図 1 を併せ見るのが有益である。成績上位群の集団規範は太い実線、私的見解は細い実線で、また成績下位群の集団規範は太い破線、私的見解は細い破線で表されている。

図 1 によれば、上位群・下位群とも 80% 以上参加 (= 出席) を是認し、70% 以下の出席を否認しているが、両群の是認と否認の分布を見ると上位群の方が下位群よりも出席に関してより厳しい規範を形成していることがわかる。両群間の差は、100% 参加点、90% 参加点、80% 参加点において  $p < .05$  水準で、また 70% 参加点において  $p < .10$  水準で統計的に有意である (表 2)。このことは、表 2 にみられる是-否認差が上位群において負の値となり、下位群において正の値となっている (両群間の差は 5% 水準で有意) ことによっても示されている。規範の強度と結晶度には両群間に有意な差が見られない。

私的見解の両群比較についてもほぼ上と同様な関係が認められるが、100% 参加点での是認量に群間差がないことと、規範の結晶度が、上位群において下位群より有意に低いことに違いが認めら

表 2 出席に関する集団規範と私的見解  
成績上位群と下位群との比較 [中央値]

	集団規範(M')			私的見解(m')		
	上位群 n=6gr's	下位群 n=15gr's	差の検定 U-test	上位群 n=6gr's	下位群 n=15gr's	差の検定 U-test
すべてに参加する	2.27	2.50	$p < .05$	2.56	2.73	n. s.
90%参加する	.84	1.50	$p < .05$	.94	1.44	$p < .05$
80%参加する	.02	.70	$p < .05$	.02	.56	$p < .05$
70%参加する	-.83	-.33	$p < .10$	-.76	-.76	$p < .05$
60%参加する	-1.54	-1.29	n. s.	-1.55	-1.14	n. s.
半分以下の参加	-2.31	-2.22	n. s.	-2.45	-2.29	n. s.
強度(I)	8.08	8.67	n. s.	8.82	9.00	n. s.
是-否認差(D)	-1.35	1.00	$p < .05$	-.74	2.14	$p < .10$
結晶度(C)	8.46	7.53	n. s.	8.36	6.63	$p < .05$
虚構度(F)	上位群	1.08	下位群	1.78	差の有意性	$p < .01$

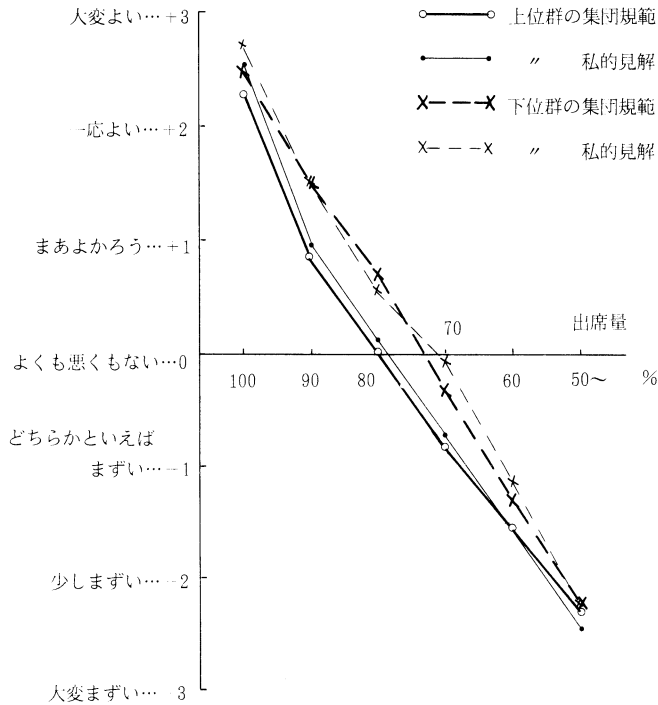


図1 出席に関する集団規範と私的見解：成績上位群と下位群との比較

れる。ともあれ、上位群の厳しい規範が同様の厳しい私的見解に支えられ、下位群の相対的に寛やかな規範が同様の寛やかな私的見解に裏付けられているのを読み取ることはきわめて容易である。

最後に、私的見解と集団規範とのズレ、すなわち規範の虚構性は、上位群で1.08、下位群で1.78と、前者で有意に小さかった。このことは上位群におけるあの厳しい集団規範が、メンバーたちの私的見解に近いものとして、よりよく支持されていたことを表している。

## 2. 出席に関する集団規範と成員の行動：規範の実効性の検討

上の分析によって、上位群の方が下位群よりも出席に関してより厳しい集団規範を形成していることがわかった。このような集団規範の差異は、果してそれに対応したメンバーたちの行動に差異をもたらしているであろうか。Q5は、これらのチームのメンバーたちが実際にどの程度出席（＝参加）しているかを、10%刻みで自己申告させている。このデータからチームごとに次の4つの指標を導いた。①平均出席量：メンバーの回答のチー

ム平均、②80%以上出席者：Q5の質問に80%、90%、100%参加すると答えた者のチーム内に占める割合、③90%以上出席者：同様に90%、100%参加すると答えた者の占める割合、④100%出席者：100%参加すると答えた者の割合。いずれの指標も%で表示されるが、①はもともと%のついた回答の平均値であるのに対し、②以下は回答者の占める割合を表示するための%であって、%の意味が異なることに注意しなければならない。表3は、これら4つの指標について上位群、下位群ごとに求めた中央値の比較を行ったものである。差の検定にはU-testが用いられた。

表3によれば、平均出席量は上位群で89.4%、下位群で86.4%と、上位群の方が高い値を示しているが、両群とも群内変動が大きいためこの差は有意でない。出席する者の割合についても、80%以上出席者、90%以上出席者、100%出席者のすべてにおいて上位群の方が下位群より多いが、有意差が認められたのは100%出席者においてのみであった。これらの結果は、集団規範の差がそのままの形でメンバーの行動に反映するとは言えないまでも、大筋において厳しい出席規範をもつ集団は、

表3 チーム・メンバーの出席量  
成績上位群と成績下位群との比較[中央値]

	平均 出席量 (%)	出席する者の割合 (%)		
		80%以上出席者	90%以上出席者	100%出席者
上位群 (n=6)	89.4	85.9	76.1	67.9
下位群 (n=15)	86.4	81.8	72.7	42.9
差の有意性	n. s.	n. s.	n. s.	p < .05

表4 遅刻に関する集団規範と私的見解  
成績上位群と下位群との比較[中央値]

	集団規範(M')			私的見解(m')		
	上位群 n=6gr's	下位群 n=15gr's	差の検定 U-test	上位群 n=6gr's	下位群 n=15gr's	差の検定 U-test
30分前に来る	1.69	2.05	p < .05	1.94	2.33	n. s.
15分前に来る	1.12	1.82	p < .01	1.21	2.00	p < .05
定刻に来る	-.21	1.00	p < .01	-.19	1.22	p < .01
5分遅刻	-2.05	-.67	p < .001	-1.74	-.56	p < .01
15分遅刻	-2.57	-1.67	p < .01	-2.53	-2.00	p < .01
30分遅刻	-2.73	-2.50	p < .05	-2.84	-2.50	p < .05
60分遅刻	-2.83	-2.67	n. s.	-2.90	-2.86	n. s.
強度(I)	13.69	12.44	p < .05	13.90	12.89	n. s.
是-否認差(D)	-7.51	-2.73	p < .01	-6.43	-2.91	p < .001
結晶度(C)	7.84	7.76	n. s.	7.78	7.58	n. s.
虚構度(F)	上位群 1.43		下位群	1.57	差の有意性 n. s.	

寛やかな規範をもつ集団よりも、相対的により多くの出席を成員たちから引き出すことに成功している、とあってよいであろう。

### 3. 遅刻に関する規範

遅刻に関する集団規範と私的見解について検討する。表4は、上で出席の規範について見た表2と同様の形式で、集団規範と私的見解のそれぞれについて上位群と下位群の中央値による比較を試みたものである。

図2は、これらの集団規範(M')と私的見解(m')を、グラフによって示している。

ここでも上位群の集団規範が、下位群のそれよりも、はるかに厳格であることが明瞭に読み取れる。30分前の到着から30分遅刻までのすべての測定点において、この方向の群間有意差が認められている。さすがに60分の遅刻は、下位群においても上位群と有意差のない水準にまで否認されている。私的見解も、30分前の到着で有意な群間差が認められない点を除けば、集団規範の場合と酷似

した様相を示している。そしてこの場合には、集団規範、私的見解ともに、是-否認差の群間差がいっそう明瞭になり、強度と結晶度には群間差が認められない。

### 考察と結論

これまでの分析によって、集団の成績が成員間のチームワークに大きく左右されるタイプの運動競技に従事している大学の硬式野球部において、そこに形成される参加規範(出席に関する規範と遅刻に関する規範の総称)が、その成績上位群と下位群との間で大きな差異を見せることが明らかになった。すなわち、成績上位群には、出席についても遅刻についても、成績下位群よりはるかに厳しい集団規範が存在した。これらの規範は成員たちの私的見解によって支えられ、成員たちの報告する出席量にもその反映が認められた。

われわれはかつて(佐々木, 1995)吹奏楽部の成績上位群と下位群の間に同様な差異を見いだ

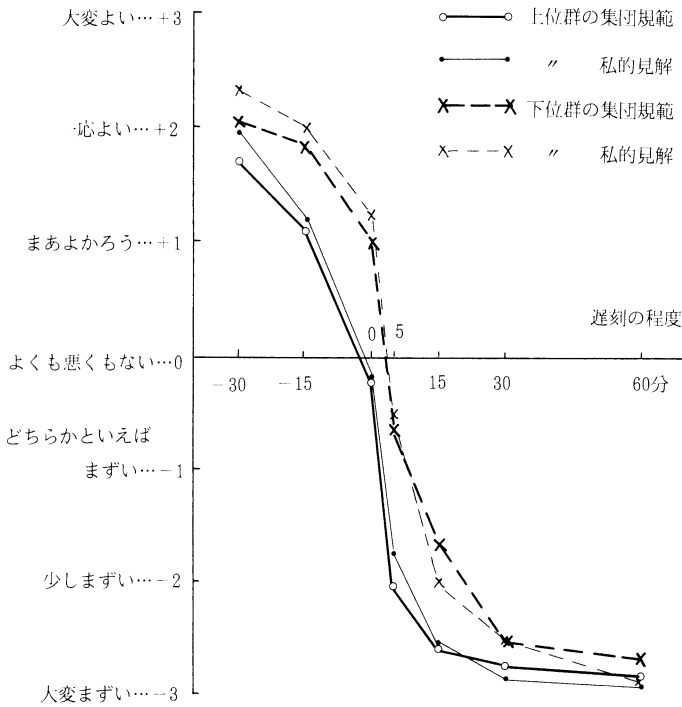


図2 遅刻に関する集団規範と私的見解：  
成績上位群と下位群との比較

し、同時に洋弓部の成績上位-下位群間ではこれらの差異が著しく縮減されていることを見いだした。その際、吹奏楽部と洋弓部との間にみられたこのような違いは、これら兩種の集団が従事している活動の性質の違い（すなわち前者における吹奏楽演奏はメンバー間のチームワークに左右されるところが大きいのに対し、後者の洋弓による射的は所詮個人プレイであって、集団戦といえども基本的には個人成績の加算によって集団の成績が決まる）に起因するものと解釈された。

今回の野球部データによる研究結果は、集団の成績がメンバー間のチームワークに大きく左右されるタイプの活動に従事している集団であれば、吹奏楽部であれ野球部であれ、集団の成績と参加規範との間に同様な関係が存在することを証明している。少なくとも「文化部」対「運動部」といった通俗的なクラブ分類法からする、先の研究結果に対する疑念は払拭されたものと見てよいであろう。

先の研究でも指摘したことであるが、このような1時点での調査研究によっては、参加規範と集団の成績との因果関係を確定することができな

い。とはいえ、厳しい参加規範はクラブの活動（その大部分は練習）へのメンバーたちの参加を促進するから、それによってより多くの練習時間が確保され、結果としてそれが成績の向上をもたらすであろうとの因果解釈は十分可能であるように思われる。

### 要 約

集団の成績がメンバー間のチームワークに大きく左右されるタイプの活動に従事している集団では、集団の成績と参加規範（出席および遅刻に関する集団規範）との間に有意な関係が存在することを、吹奏楽部の調査によって明らかにした前回の研究に続いて、今回は硬式野球部の調査データによって再確認しようと試みた。調査当時関西において最高の実力を誇っていた関西六大学リーグの構成チームを成績上位群とし、阪神、京磁・近畿の各リーグの二部に属する15チームを成績下位群として、これらのチームに見られる参加規範をリターン・ポテンシャル・モデルによって測定し、これらの規範の構造特性を両群間で比較した。



前回の吹奏楽部の場合同様、硬式野球部においても、成績上位群の方が下位群よりも厳しい参加規範をもっていた。これらの規範のうち出席に関する集団規範については、(回答者の自己申告による) 実際の出席量に照らして、その実効性が検証された。

今回の結果は、集団の成績と参加規範との関係が、いわゆる「文化部」対「運動部」という通俗的なクラブ分類を超えて存在することをも示している。

文 献

Jackson, J. M. (1960) Structural characteristics of norms. In G. E. Jensen (ed.) *Dynamics of Instructional Groups*. Univ. of Chicago Press. 末吉梯次・片岡徳雄・森しげる(訳) 1967 「学習集団の力学」 黎明書房

Jackson, J. M. (1965) Structural characteristics of norms. In I. D. Steiner & M. Feshbein(Eds.) *Current Studies in Social Psychology*. Holt, Rinehart & Winston. Pp. 301-309. 香山健一(訳) 1970 規範の構造的性質 田中靖政(訳編) 「現代アメリカ社会心理学」 日本評論社 Pp. 48-61.

佐々木薫(1963) 集団規範の研究：概念の展開と方法的吟味 教育・社会心理学研究 4 (1), 21-41.

佐々木薫(1981) 集団規範の変化に関する研究 三隅二不二・木下富雄(編) 「現代社会心理学の発展 I」 ナカニシヤ出版 Pp. 151-178.

佐々木薫(1995) 出席及び遅刻に関する規範と集団の成績：吹奏楽部と洋弓部の調査研究 関西学院大学社会学部紀要 72号 Pp. 73-90.

付録 1 出席に関する集団規範と私的見解

成績上位群

チーム	A	B	C	D	E	F
回答票数 / 在籍者数	33 / 50	31 / 33	37 / 50	29 / 29	25 / 25	16 / 25
すべてに参加する	1.78 (1.32)	1.76 (1.52)	1.88 (1.34)	1.41 ( .97)	1.68 (1.01)	1.69 ( .77)
集 90%参加する	4.41 (2.15)	3.53 (2.06)	3.19 (1.59)	2.79 (1.40)	2.48 (1.10)	3.13 (1.45)
団 80%参加する	5.16 (1.99)	1.21 (1.85)	4.48 (1.50)	3.48 (1.45)	3.48 (1.68)	3.75 (1.52)
規 70%参加する	5.63 (1.73)	4.93 (1.55)	5.10 (1.38)	4.72 (1.39)	4.48 (1.53)	4.25 (1.30)
範 60%参加する	5.91 (1.55)	5.62 (1.19)	5.45 (1.32)	5.62 (1.10)	5.44 (1.33)	4.63 (1.32)
半分以下しか参加しない	6.59 (1.06)	6.03 (1.67)	5.90 (1.53)	6.66 ( .54)	6.63 (1.03)	5.31 (1.89)
強度	9.91	7.50	8.66	6.84	8.91	5.63
是 - 否認差	-5.47	-2.09	-2.00	-0.69	-0.18	1.25
結晶度	9.78	9.84	8.66	6.84	7.67	8.25
すべてに参加する	1.56 (1.09)	1.38 (1.03)	1.59 ( .97)	1.10 ( .40)	1.16 ( .46)	1.50 ( .19)
私 90%参加する	4.13 (2.12)	3.24 (2.05)	3.50 (1.87)	2.62 (1.40)	2.76 (1.58)	2.88 (1.49)
的 80%参加する	4.94 (1.85)	4.18 (1.89)	4.56 (1.71)	3.41 (1.35)	3.60 (1.60)	3.50 (1.37)
見 70%参加する	5.47 (1.66)	4.96 (1.55)	5.19 (1.49)	4.55 (1.52)	4.54 (1.44)	3.88 (1.36)
解 60%参加する	5.94 (1.34)	5.57 (1.37)	5.84 (1.25)	5.52 (1.40)	5.25 (1.13)	4.44 (1.41)
半分以下しか参加しない	6.66 ( .84)	6.18 (1.54)	6.25 (1.39)	6.76 ( .77)	6.64 ( .89)	5.67 (1.78)
強度	9.56	8.27	8.73	9.69	8.91	6.35
是 - 否認差	-4.69	-1.51	-2.93	0.03	0.05	2.15
結晶度	8.88	9.42	8.69	6.85	7.10	8.03
規範の虚構性	.97	.93	1.50	.93	1.19	1.60

成績下位群

チーム		a	b	c	d	e	f	g	h
回答票数/在籍者数		14/20	9/12	9/14	16/20	15/22	22/32	7/17	9/14
集団規範	すべてに参加する	1.21 (.77)	1.00 (.00)	1.67 (1.25)	1.44 (.79)	1.40 (.80)	1.73 (1.45)	1.00 (.00)	1.11 (.31)
	90%参加する	2.93 (1.79)	2.78 (2.04)	2.33 (.94)	2.69 (1.86)	2.27 (1.00)	2.50 (1.31)	1.86 (.64)	2.33 (.82)
	80%参加する	4.07 (1.79)	3.33 (2.11)	3.00 (.67)	3.75 (1.79)	3.27 (1.29)	3.59 (1.50)	2.57 (.73)	3.22 (1.23)
	70%参加する	5.29 (1.58)	4.33 (1.83)	4.22 (1.03)	4.75 (1.48)	4.33 (1.66)	4.59 (1.64)	4.29 (1.39)	3.78 (1.47)
	60%参加する	5.71 (1.28)	5.56 (1.83)	5.11 (.87)	5.69 (.98)	5.27 (1.57)	5.23 (1.48)	5.29 (1.28)	4.78 (1.69)
	半分以下しか参加しない	6.36 (1.23)	6.22 (1.87)	5.89 (1.10)	6.56 (.61)	6.00 (1.21)	5.77 (1.56)	6.57 (.73)	6.33 (.67)
	強度	9.29	9.00	8.22	9.13	8.67	7.77	10.71	8.67
	是-否認差	-1.57	+0.78	+1.78	-0.88	+1.47	+0.59	+2.43	+2.44
	結晶度	8.44	9.68	5.86	7.51	7.53	8.94	4.76	6.18
	私的見解	すべてに参加する	1.00 (.00)	1.00 (.00)	1.89 (1.29)	1.69 (.98)	1.13 (.34)	1.09 (.29)	1.00 (.00)
90%参加する		3.36 (1.91)	3.22 (2.04)	2.56 (.83)	2.94 (1.75)	2.07 (.57)	2.18 (1.34)	2.29 (.45)	2.78 (1.55)
80%参加する		4.00 (2.07)	4.33 (2.00)	3.00 (1.15)	3.44 (1.73)	2.80 (.83)	3.05 (1.46)	3.14 (.64)	3.67 (1.63)
70%参加する		4.79 (1.93)	5.89 (1.10)	3.78 (1.03)	4.13 (1.65)	4.07 (1.18)	3.91 (1.38)	4.00 (.76)	4.22 (1.69)
60%参加する		5.43 (1.84)	6.56 (.50)	4.56 (1.07)	5.31 (1.40)	5.13 (1.45)	6.41 (.83)	5.14 (1.25)	4.89 (1.52)
半分以下しか参加しない		6.14 (1.55)	7.00 (.00)	5.56 (1.26)	6.50 (.61)	6.07 (1.29)	6.67 (.94)	6.29 (1.16)	6.22 (.79)
強度		8.00	11.56	6.89	7.88	9.27	9.36	9.00	7.78
是-否認差		-0.71	-4.00	+2.67	.00	+2.73	+2.18	+2.14	+1.11
結晶度		9.31	5.64	6.63	8.13	5.67	6.67	4.25	7.49
規範の虚構性		1.71	4.78	1.78	1.88	1.40	2.86	1.71	1.56

成績下位群(続き)

チーム		i	j	k	l	m	n	o
回答票数/在籍者数		11/14	11/15	14/23	11/17	15/22	14/25	9/15
集団規範	すべてに参加する	1.90 (1.37)	1.73 (1.60)	1.50 (.73)	1.73 (1.14)	1.47 (.88)	1.69 (1.26)	1.56 (1.07)
	90%参加する	2.50 (1.12)	4.45 (2.50)	1.93 (.59)	2.36 (1.15)	1.93 (.77)	3.00 (1.80)	3.22 (2.20)
	80%参加する	3.30 (1.19)	5.64 (1.77)	2.43 (.62)	3.27 (1.14)	2.53 (.96)	3.92 (1.44)	4.00 (2.05)
	70%参加する	4.10 (1.81)	6.00 (1.48)	3.21 (.94)	4.18 (1.11)	3.67 (1.40)	4.92 (1.44)	4.78 (1.55)
	60%参加する	4.90 (1.58)	6.18 (1.19)	4.21 (1.15)	5.36 (1.37)	5.07 (1.48)	5.77 (1.48)	5.44 (1.57)
	半分以下しか参加しない	5.90 (1.22)	6.73 (.86)	5.36 (.89)	6.09 (1.31)	6.33 (1.25)	6.38 (.92)	6.00 (1.49)
	強度	7.20	11.27	8.50	8.27	9.80	8.46	7.44
	是-否認差	+1.40	-6.73	+5.36	+1.00	+3.00	-1.69	-1.00
	結晶度	8.29	9.40	4.93	7.21	6.74	8.34	9.93
	私的見解	すべてに参加する	1.40 (.66)	1.27 (.62)	1.29 (.59)	1.18 (.39)	1.27 (.57)	1.29 (.80)
90%参加する		1.90 (.83)	3.50 (2.33)	2.07 (.46)	1.91 (.29)	1.87 (.50)	3.14 (1.96)	3.22 (2.20)
80%参加する		2.70 (.78)	3.90 (2.07)	2.71 (.88)	2.64 (.98)	2.53 (.62)	4.07 (1.58)	3.78 (1.87)
70%参加する		3.30 (.78)	4.90 (1.81)	3.57 (.82)	3.73 (1.21)	4.80 (1.47)	4.93 (1.16)	4.33 (1.63)
60%参加する		4.70 (1.68)	5.60 (1.36)	4.64 (1.29)	5.27 (1.29)	6.07 (1.24)	6.07 (.96)	5.11 (1.20)
半分以下しか参加しない		6.20 (1.08)	6.90 (.30)	5.79 (.77)	6.36 (.98)	6.71 (.68)	6.57 (.82)	5.89 (1.45)
強度		9.60	8.73	8.79	10.18	9.53	9.21	6.22
是-否認差		+3.80	-2.07	+3.93	+2.91	+3.80	-2.07	-0.44
結晶度		5.81	8.49	4.81	5.13	5.53	7.28	10.08
規範の虚構性		3.00	5.00	1.86	2.45	.80	1.19	1.67

## 付録2 遅刻に関する集団規範と私的見解

## 成績上位群

チーム		A	B	C	D	E	F
回答票数 / 在籍者数		33 / 50	31 / 33	37 / 50	29 / 29	25 / 25	16 / 25
集団規範	30分前に来る	2.22 (1.29)	2.80 (2.02)	2.36 (1.34)	1.90 (1.03)	2.86 (1.94)	2.25 (1.48)
	15分前に来る	2.75 (1.62)	3.30 (2.10)	3.00 (1.52)	2.17 (1.02)	3.68 (1.84)	2.50 (1.50)
	定刻に来る	4.22 (1.47)	4.17 (1.86)	4.34 (1.61)	3.17 (1.34)	5.23 (1.65)	4.19 (1.51)
	5分遅刻	6.75 (.66)	5.73 (1.29)	6.03 (1.50)	5.41 (1.43)	6.59 (.89)	6.06 (1.25)
	15分遅刻	6.94 (.24)	6.13 (1.12)	6.61 (.85)	6.17 (1.05)	6.73 (.91)	6.53 (.72)
	30分遅刻	6.97 (.17)	6.45 (1.01)	6.70 (.97)	6.69 (.70)	6.89 (.62)	6.75 (.56)
	60分遅刻	6.97 (.17)	6.53 (.99)	6.85 (.61)	6.79 (.61)	6.91 (.42)	6.81 (.39)
強度	14.88	10.92	13.16	13.83	13.77	13.60	
是 - 否認差	-8.81	-7.12	-7.89	-4.31	-10.86	-7.10	
結晶度	5.64	10.40	8.41	7.18	8.27	7.40	
私的見解	30分前に来る	2.09 (1.16)	2.33 (1.47)	2.06 (1.54)	1.66 (.96)	1.88 (.97)	2.06 (1.48)
	15分前に来る	2.78 (1.60)	2.80 (1.47)	2.91 (1.66)	2.14 (.97)	3.08 (1.82)	2.25 (1.60)
	定刻に来る	4.31 (1.63)	4.07 (1.46)	4.30 (1.64)	3.21 (1.32)	4.75 (1.56)	3.69 (1.49)
	5分遅刻	6.88 (.33)	5.60 (1.25)	5.88 (1.51)	5.55 (1.30)	6.08 (1.29)	5.50 (1.27)
	15分遅刻	6.97 (.17)	6.13 (1.12)	6.58 (.78)	6.48 (.86)	6.71 (.68)	6.13 (.93)
	30分遅刻	6.97 (.17)	6.30 (1.13)	6.82 (.57)	6.86 (.43)	6.96 (.20)	6.56 (.70)
	60分遅刻	6.97 (.17)	6.16 (1.53)	6.91 (.51)	7.00 (.00)	6.74 (1.22)	6.88 (.33)
強度	15.22	11.13	13.52	14.90	14.28	13.06	
是 - 否認差	-8.97	-5.39	-7.46	-4.90	-8.20	-5.06	
結晶度	5.23	9.42	8.22	5.84	7.75	7.80	
規範の虚構性	.41	1.72	.79	1.14	2.85	2.16	

## 成績下位群

チーム		a	b	c	d	e	f	g	h
回答票数 / 在籍者数		14 / 20	9 / 12	9 / 14	16 / 20	15 / 22	22 / 32	7 / 17	9 / 14
集団規範	30分前に来る	1.79 (.77)	1.33 (.47)	1.89 (1.45)	2.94 (1.64)	2.00 (.97)	1.95 (1.19)	1.43 (.49)	1.33 (.67)
	15分前に来る	2.50 (.98)	2.44 (1.77)	2.11 (1.37)	2.63 (1.27)	2.53 (1.02)	2.18 (1.19)	1.71 (.70)	1.78 (.92)
	定刻に来る	4.29 (1.33)	3.67 (1.76)	2.89 (1.29)	3.00 (1.06)	3.93 (1.57)	2.86 (1.25)	2.14 (.64)	3.22 (1.69)
	5分遅刻	5.71 (.96)	4.67 (1.63)	4.67 (1.25)	5.63 (1.27)	5.53 (1.41)	4.82 (1.43)	3.86 (.83)	4.56 (1.57)
	15分遅刻	6.43 (.73)	6.22 (1.03)	5.33 (1.25)	6.44 (.86)	6.27 (1.34)	6.14 (1.06)	5.43 (.73)	5.67 (.82)
	30分遅刻	6.64 (.61)	6.89 (.31)	5.89 (1.20)	6.81 (.53)	6.60 (.88)	6.77 (.42)	6.57 (.49)	6.56 (.50)
	60分遅刻	6.93 (.26)	7.00 (.00)	6.11 (1.10)	6.88 (.33)	6.67 (.87)	6.95 (.21)	7.00 (.00)	6.56 (1.26)
強度	13.71	13.33	11.11	13.19	12.61	13.68	13.86	13.00	
是 - 否認差	-6.29	-4.22	-0.89	-6.31	-5.53	-3.68	-0.14	-1.67	
結晶度	5.64	6.98	8.90	6.96	8.06	6.75	3.89	7.41	
私的見解	30分前に来る	1.86 (.74)	1.22 (.63)	1.67 (1.25)	2.63 (1.69)	1.53 (.72)	1.64 (.98)	1.43 (.49)	1.67 (.82)
	15分前に来る	2.71 (1.22)	2.11 (1.79)	2.00 (1.15)	2.69 (1.40)	2.53 (1.15)	1.77 (1.00)	1.57 (.14)	2.11 (1.29)
	定刻に来る	4.79 (1.32)	3.11 (1.91)	2.78 (.92)	2.31 (1.10)	3.87 (1.26)	2.64 (1.43)	1.86 (.64)	3.56 (1.64)
	5分遅刻	6.15 (.86)	4.33 (1.89)	4.00 (.82)	4.94 (1.48)	5.47 (1.31)	4.91 (1.31)	4.00 (1.20)	4.56 (1.71)
	15分遅刻	6.43 (.73)	6.00 (.82)	5.22 (1.31)	6.06 (.90)	6.27 (1.00)	6.18 (.78)	4.86 (1.36)	6.00 (.82)
	30分遅刻	6.79 (.41)	6.78 (.63)	5.78 (1.31)	6.81 (.53)	6.73 (.57)	6.77 (.52)	6.29 (.70)	6.78 (.42)
	60分遅刻	7.00 (.00)	7.00 (.00)	6.11 (1.29)	6.88 (.48)	6.93 (.25)	7.00 (.00)	6.86 (.35)	6.89 (.31)
強度	14.58	13.67	10.67	13.06	13.47	14.82	13.14	12.89	
是 - 否認差	-7.73	-2.56	+0.44	-4.31	-5.33	-2.91	+1.14	-3.56	
結晶度	5.28	7.66	8.05	7.58	6.25	6.01	5.46	7.00	
規範の虚構性	1.44	1.67	1.33	2.13	1.00	1.14	1.57	1.89	

成績下位群(続き)

チーム		i	j	k	l	m	n	o
回答票数/在籍者数		11/14	11/15	14/23	11/17	15/22	14/25	9/15
集団規範	30分前に来る	2.45 (1.83)	1.89 (1.10)	2.14 (1.46)	2.18 (1.27)	2.40 (1.40)	2.21 (1.32)	1.89 (1.29)
	15分前に来る	2.50 (1.86)	2.10 (1.04)	1.93 (1.22)	2.18 (1.27)	2.47 (1.36)	2.71 ( .96)	1.89 (1.29)
	定刻に来る	3.40 (1.36)	2.90 (1.30)	2.00 (1.07)	2.55 (1.30)	3.00 (1.26)	3.93 (1.49)	2.11 (1.20)
	5分遅刻	4.60 (1.20)	5.60 (1.43)	2.86 (1.12)	3.82 (1.53)	4.53 (1.54)	5.64 (1.23)	3.89 (1.52)
	15分遅刻	5.40 (1.11)	6.00 (1.41)	3.71 (1.10)	4.91 (1.62)	5.53 (1.41)	6.21 ( .94)	5.22 (1.13)
	30分遅刻	6.10 ( .94)	6.30 (1.42)	4.79 ( .94)	5.55 (1.83)	6.27 (1.00)	6.50 ( .73)	6.33 ( .67)
	60分遅刻	6.50 ( .92)	6.30 (1.42)	6.07 ( .96)	5.82 (1.85)	6.53 ( .88)	6.71 ( .70)	6.67 ( .67)
強度	10.25	13.31	10.21	9.55	11.00	12.21	12.44	
是-否認差	-2.95	-3.09	+4.50	+1.00	-2.73	-5.93	.00	
結晶度	9.22	9.12	7.87	10.66	8.86	7.37	7.76	
私的見解	30分前に来る	2.30 (1.95)	1.36 ( .64)	1.64 (1.17)	1.36 ( .64)	1.93 (1.44)	1.79 (1.21)	1.67 (1.25)
	15分前に来る	2.50 (1.91)	1.64 ( .77)	1.64 (1.11)	1.64 ( .64)	1.87 (1.15)	2.43 ( .90)	1.67 (1.25)
	定刻に来る	3.30 (1.73)	3.18 (2.17)	1.86 ( .83)	2.55 (1.16)	2.33 (1.01)	3.71 (1.44)	1.78 (1.23)
	5分遅刻	4.70 (1.73)	5.55 (1.62)	2.79 ( .94)	4.18 (1.03)	4.27 (1.48)	5.43 (1.29)	3.78 (1.55)
	15分遅刻	5.90 (1.22)	6.09 (1.24)	3.57 (1.18)	5.00 (1.21)	5.53 (1.20)	6.00 (1.20)	4.89 (1.29)
	30分遅刻	6.50 ( .67)	6.64 ( .77)	4.57 (1.35)	5.73 (1.14)	6.40 ( .71)	6.29 ( .96)	6.11 ( .87)
	60分遅刻	6.80 ( .60)	6.91 ( .29)	6.21 (1.01)	6.09 (1.00)	6.67 ( .60)	6.50 ( .98)	6.78 ( .63)
強度	11.80	15.00	11.29	11.45	12.73	12.29	12.89	
是-否認差	-4.00	-3.36	+5.71	+1.45	-1.00	-4.14	+1.33	
結晶度	9.82	7.50	7.59	6.81	7.59	7.97	8.06	
規範の虚構性	1.55	2.36	1.50	2.27	2.27	1.79	1.56	